

令和7年度 呉市在宅医療・介護連携に関する相談実績

令和7年4月～令和7年7月

1 新規相談件数

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	0	2	0	2									4

2 相談者の所属機関及び相談内容

所属機関

区 分	件
高齢者相談室	1
居宅介護支援事業所	
訪問看護ステーション	
介護サービス事業者	
病院・診療所	
歯科	
薬局	
その他	3

職種

区 分	件
ケアマネジャー	
看護師	
保健師	
介護職	
医師	
歯科医師	
薬剤師	
ソーシャルワーカー	3
リハビリ専門職	
その他	1

相談内容

区 分	件
医療・介護連携の調整	2
医療機関の情報提供	1
介護施設の情報提供	
地域資源の情報提供	
在宅医療・在宅療養	1
入院支援	
退院支援	
その他	

3 呉市在宅医療・介護連携に関する相談内容と対応

別紙1参照

4 相談から見えた現状と課題

窓口で制度やサービスに関する十分な説明が得られず、患者・家族が「相談の迷子」になっている状況が度々聞かれる。特に初めてその支援を受けようとする患者・家族にとっては、相談先が分からず仕組みや手続きが複雑に感じられることも少なくない。背景には、時間的制約と説明不足、制度やサービスの複雑さ、多様な関係機関の存在などが考えられる。

課題として、相談窓口や関係機関の認識不足、利用者目線での説明不足、患者・家族の情報不足などが考えられ、医療機関と地域（行政、サービス事業者、高齢者相談室など）との間で十分な情報連携・支援の継続がなされていないことも考えられる。

5 今後の対応

- ・ 日常の療養支援の場面の現状把握・課題抽出のため、医療・介護関係者にヒアリングを行う。
- ・ 関係機関の連携強化と、必要な情報や支援にたどり着ける相談支援の体制整備および相談機能の強化を図る。また、情報提供のタイミングや工夫の検討と早期介入の推進を図る。
- ・ 市民が住み慣れた地域で暮らし続けるために必要な情報を得ることで、市民が自ら「聞く力」と「選ぶ力」を養えるよう、市民啓発を行う。